

システムレベル技術検討に必要な着陸候補地点の解析

報告書番号：R19JB0101

利用分野：宇宙探査

URL：<https://www.jss.jaxa.jp/ar/j2019/11425/>

● 責任者

佐藤直樹, 国際宇宙探査センター宇宙探査システム技術ユニット

● 問い合わせ先

星野 健(hoshino.takeshi@jaxa.jp)

● メンバ

星野 健, 山本 光生, 井上 博夏, 佐藤 広幸

● 事業概要

月極域の着陸地点解析のためのマップ作成

● JAXA スーパーコンピュータを使用する理由と利点

並列処理を効率的に行うことができ, 大きなデータをメモリに乗せることが可能である点.

● 今年度の成果

米国月探査衛星搭載の広角カメラデータを用い, 月南極域のマルチバンドモザイクを作成した.

● 成果の公表

-口頭発表

Sato,H. (2020) Polar WAC color mosaic and geology: Preliminary results, LROC-Diviner Science Team Meeting.

● JSS2 利用状況

● 計算情報

プロセス並列手法	非該当
スレッド並列手法	手動並列(処理単位を独立したジョブに分け、多数のジョブを実行することで並列化した)
プロセス並列数	1
1 ケースあたりの経過時間	1 時間

● 利用量

総資源に占める利用割合^{※1} (%) : 0.02

内訳

計算資源		
計算システム名	コア時間(コア・h)	資源の利用割合 ^{※2} (%)
SORA-MA	0.00	0.00
SORA-PP	3,346.01	0.02
SORA-LM	0.00	0.00
SORA-TPP	0.00	0.00

ファイルシステム資源		
ファイルシステム名	ストレージ割当量(GiB)	資源の利用割合 ^{※2} (%)
/home	94.20	0.08
/data	53,363.91	0.91
/tmp	6,123.74	0.52

アーカイバ資源		
アーカイバシステム名	利用量(TiB)	資源の利用割合 ^{※2} (%)
J-SPACE	0.00	0.00

※1 総資源に占める利用割合 : 3つの資源(計算, ファイルシステム, アーカイバ)の利用割合の加重平均

※2 資源の利用割合 : 対象資源一年間の総利用量に対する利用割合